

Nariko

この街が好き。この人が好き。だから、成田が好き。

Vol.7

2017
company newsletter

ナリコー最前線！ News & Topics

ドクターズエッセー

暮らしの豆知識

Information Board / 編集後記

特集

日本の伝統と技を現代のカタチに

切れ味鋭い「総ふさ」の刃

成田の伝統を訪ねて

切れ味鋭い「総」の刃

成田の小さな工房で作られている「総火造り」の刃物。格別な切れ味を持つ「刃」は、職人の心意気の結晶。



熱した鉄に鋼を付け、一体化させる。鋼の部分が刃となる



熱した鉄を槌でたたき、繰り返し鍛錬する



厚みや反り、曲がりなどは目視で確認しながら作業を進める



刃の付け根部分をたがねで切断し、持ち手を成形



焼き入れ作業を行う祥二郎さん。一つ一つ完全に手作りするため、効率よく作業を進めても1日に包丁2本を作るのがやっと。「型に入れて作る鋳造品と違って、何度もたたいて作った刃は目が細かく、粘りとコシがあって1年くらいは研がなくても切れ味が落ちないですよ」
※工房は事前連絡をすれば見学も可能。炎の熱気と迫力を体感できる。

日本刀から生まれた 総火造りの裁ち鉄

有限会社正次郎鉄刃物工芸の設立は昭和42年。現在技を継承している石塚祥二郎さんは六代目に当たる。その歴史は古く、曾祖父である故長太郎氏が日本のラシャ切鉄の始祖と呼ばれる吉田弥十郎に師事したのが始まりだ。

服装の欧米化などを受け、使い勝手の良い裁ち鉄が必要とされるようになった明治期、江戸の刀鍛冶であった弥十郎は、欧米のラシャ切鉄を参考に、古来日本刀の製造技法を生かして裁ち鉄を生み出した。これが、総火造りの裁ち鉄の始まりと言われている。

世界が目にする技法と 受け継ぐ心意気

弥十郎の下で長太郎氏が修得した技を、祖父の故正次郎氏が継承。現在は「有限会社正次郎鉄刃物工芸」として五代目、六代目がその技を磨いており、千葉県指定伝統的工芸品にも認定されている。

総火造りの技法は、型を使用せず、熱した鉄をたたき、伸ばした

次世代に伝えたい 長く愛用される品質

植一本で刃物の形を整える。それは3次元の世界であり、積み重ねた経験と勘が頼りだ。さらに、火力の強いコークスで火をおこすため、炉の温度は1300度にもなる。熱した鉄をたたく時に飛び散る火花で、手にはやけどが絶えないという過酷な仕事だ。「日々の作業とはいえ、危険も伴いますし、緊張感を持たなくては良いものは作れません」と祥二郎さんは話す。自らが足を踏み入れて初めて、父の偉大さ、先人たちの知恵や工夫の素晴らしさに気づくことができたと語る。

一方で、「30年も前に作った親父



工房に置かれている、鉄製作の工程。六代目はこれを見ながら、自力で作り方を覚えていった。実物を見るのが、何よりの教科書



ラシャ切り鉄総火造り名人正次郎。初代長太郎の次男。独立して鉄鍛冶職人となった。国の卓越技能章と勲六等瑞宝章を受章している



鉄挟みや槌、炉など、刃物づくりに必要な道具は使いやすく自ら手作りのものが多い。代々受け継いできたというのものも

り、幅を出したりして成形していくもの。鉄と鋼を合わせ、炎の力と槌でたく技術で生み出される「刃」は、海外でも注目されている。

「日本の刃物の文化は欧米とはかなり異なるもの。ヨーロッパなどでは特に注目されており、おかげさまで正次郎の刃物も高い評価をいただいています」とは、六代目祥二郎さんの言葉。現在は鉄だけでなく、包丁やナイフなども製作しており、昨年初めてドイツ、イギリス、フランスの展示会に出品した。

「一度はサラリーマンになった息子が六代目を継ぐと言い出した時は、うれしい反面不安も感じました。目と細める。技は教わるものではなく、体で覚えるもの。一人前になるには10年は掛かる。やりがいは大きいものの、家族を食べさせていくのには厳しい仕事だ、と二人は口をそろえる。

「最初は失敗の連続でしたし、安定したサラリーマンの生活に未練がなかったわけではありません。それでも父が一心に打ち込んできた技の世界の魅力が勝りました」。祥二郎さんの熱い思いが、正次郎鉄刃物工芸を支えている。

の包丁を、今も修理に持って来てくれるのを見ると、自分もそんな刃物を作りたいと思いますね」と、厳しさと対をなす大きな醍醐味があることも教えてくれた。

跡継ぎについて尋ねると、「自分と同じように継いでくれればうれしいですが、子どもの気持ち次第です。工房は危険な場所ですが、出入りは自由になっています。将来が楽しみですね」と祥二郎さんはほほ笑む。日々真摯に作業に勤しむ後ろ姿を見せていけば、その意味も大切さもいつか分かってくれるのではないかと自然体だ。

時代に合わせて、使う人に合わせて、少しずつ変化を加えているという祥二郎さん。職人が心を込めて作る唯一無二の一本は、手になじむ愛用品となる。

刃が欠けたり折れたりしにくく、丈夫で扱いやすい正次郎鉄刃物工芸の刃物。

- 1 万能包丁。房総で採れたほてい竹を使った柄は、節の多さが特徴。滑り止めにもなり、手になじみやすい。ぜひ一度握ってから選んでほしい
- 2 菜切り包丁
- 3 ペティナイフ。竹の柄は他の包丁と同じく、使い込むと美しい光沢が出る。共柄のタイプもあり
- 4 裁ち鉄
- 5 オリジナル布鉄

手入れ方法

錆が出ると思慮する人も多い鉄製の包丁だが、メンテナンスは簡単。錆はそのまま、使用後はお湯で洗い、タオルでしっかりと水分を拭き取る。保管するときは新聞紙などで作った箱に入れれば湿気対策にもなる。

使わずにいと赤錆が出るので、日常使用することが大切。だんだんと黒錆が出てきて、黒光りしてくれば、赤錆から包丁を守ることができる。研ぎや柄の修理なども可能。困ったときはまず相談してみよう。

DATA

有限会社 正次郎鉄刃物工芸

住所 / 成田市松崎697-1
TEL / 0476-26-8061
FAX / 0476-36-7566
http://www.shojiro.com

★最新のイベント、出張実演販売情報などは、ホームページをご確認ください。



ナリコー 最前線!

**完全オリジナルの高性能超高压路面清掃車
ARC1500で空港の安心安全を守る!**

成田国際空港の円滑な運用のために、日夜動き続ける第1事業部。一昨年、ドイツ製のオーダーメイド路面清掃車、ARC1500を新規導入! その性能の高さは、空港メンテナンスの新たなカタチです。



航空機の安全運航に不可欠なゴム除去業務

第1事業部が担う空港メンテナンス業務は、路面清掃、ライン引きなどの路面標識塗装、草刈り、滑走路ゴム除去、除雪、空港施設修繕と多岐にわたりますが、その中でも航空機の安全・安心な運航のために欠かせないのが、滑走路ゴム除去です。

このゴムは、航空機のタイヤと路面との摩擦によってゴムが焼き付いて蓄積されていくもので、着陸時に特に多く発生します。グルーピング(水はけなどのために施工された路面の細かい溝)にゴムが詰まると、路面が滑りやすくなり、スリップ事故の原因となることもあるため、定期的なメンテナンスが必要とされています。

ゴム除去は、水による高圧洗浄で路面からゴムを剥がし、汚水と共に吸引します。これを従来は、給水車、ポンプ車、バキューム車の3台で施工してきました。つまり、それだけ多くの作業員が必要であり、準備や片付けなどの時間も掛かります。滑走路での作業は、離着陸のない深夜時間帯にしか実施することができなため、短時間で終わらなければならず、効率性の面で課題がありました。

また、成田国際空港から急な依頼が入った場合でも、それぞれの車両や資機材を外部に手配しなければならぬため、除去作業を開始するまで1週間以上掛かる場合もありました。

ARC1500の導入で作業効率は大幅にアップ

こうした状況を背景に、当社では作業効率や機動性を向上させるため、2015年8月にARC1500と呼ばれる最新の高性能超高压路面清掃車の導入に踏み切りました。

ARC1500は、ゴム除去に関するすべての作業を1台に集約した清掃車です。基本的には、運転担当者が1名いれば稼働できるため、緊急時の作業にも迅速な対応が可能。現場に到着すれば、すぐに作業に取り掛かることができます。また、撤収作業なども不要なため、限られた時間の中で多くの作業を行うことができます。これによ

り、作業時間はこれまでの3分の1程度にまで短縮でき、効率性と機動性は大きく改善されました。

また、作業車の台数が減ることで、作業や移動による排気ガス量が軽減されると同時に、これまで大量の水を必要としてきた高圧洗浄でも、3分の1から4分の1にまで水量を減らすことに成功。地球環境に配慮した清掃車の誕生となったのです。

唯一無二の ハイスペックな清掃車

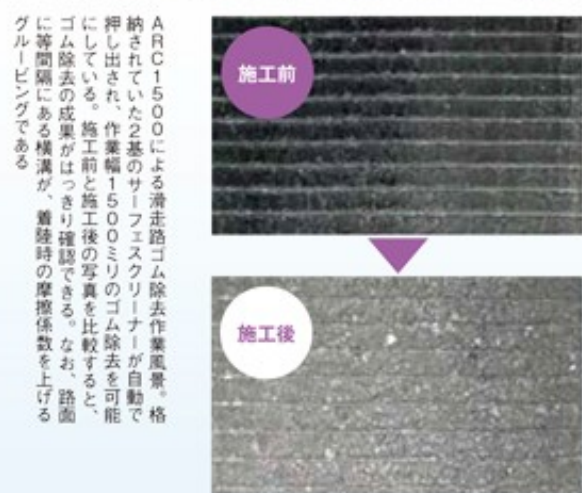
ARC1500のサーフェスクリーナーのジェットノズルは、直径わずか0・15ミリ。一般的なシャープペン

シルの芯が0・5ミリであることを考えても、その細さが分かります。そこから水を噴出させることで高圧を生むことが可能となり、グルーピングの細かい汚れまでしっかり除去することができ、仕上がりも格段に向上しました。

洗浄の状況も、地面に向けて設置されたカメラによってモニターされており、運転席からリアルタイムで確認しながら、作業を進めていくことができます。

水圧や水量などは、運転席に設置された液晶コントロールパネルで随時設定変更が可能。路面状況に合わせて微調整ができる上、それらの作業を全て一人で、運転席から移動することなくできるという、画期的な操作性を有しています。

また、洗浄のための清水は、車体後部のタンクの一つに6トン貯水可能。



作業は、運転者と車外で状況を確認する作業員との2人1組で行う。運転者は、モニターと車外の作業員の指示に合わせて、運転席のコントロールパネルで細かく設定を行う

路面清掃車 ARC1500

スゴ技

大解剖

汚水タンク内を真空にすることにより、超高压洗浄で発生した汚水とゴムくずを同時に回収。清掃後の路面もクリーンな状態に保つことができます



1回当たりのゴム除去作業で、ゴムくずだけで大型タンク1台分ほどにもなる。タンクは2層構造で清水を6トン、汚水を7トン貯留できる



全長11m、全幅2.5m、全高3.6mの巨体に秘められた、ハイテク装備の数々をご紹介します!

運転席には水圧・水量・回転数・車速などをワンタッチできめ細かく設定できるコントロールパネルを装備



車体右側中央部にサーフェスクリーナーを2基装備。それぞれのサーフェスクリーナーには超高压水を噴射する回転バー(右)があり、その回転バーに0.15mmのジェットノズル(左)24個が組み込まれ、2基が同時に可動することで、作業幅1,500mmを可能にしている。これまでは、作業幅650mmのハンド式サーフェスクリーナーを使用し、人力で作業していたため、作業効率が格段に向上した



最大出力250Mpa(メガパスカル)という超高压で水を送り出すポンプ。超高压水を使用しても、グルーピングや路面本体を損傷することなく作業を行うことができる

「ARC1500」の名称の由来

ARC= エアポート・ランウエークリーナー
1500= 1基のサーフェスクリーナーの作業幅が750mmで、2基同時に稼働することで1500mmの作業幅になる

滑走路のゴム除去を主な目的としているARC1500ですが、他にもさまざまな能力を兼ね備えています。一般的な路面清掃も得意分野で、水あかなどによる汚れも簡単に除去することができます。試験的に行った空港内の路面清掃では、黒ずんだ舗装面を施工当初のような白さに戻せることも実証されました(写真右下)。

広がる活躍の場

洗浄で回収した汚水を貯留するためのタンクも別に装備しており、広大な空港での作業も問題なく遂行できる仕様となっています。

これらのこだわりは、ドイツのメーカーに発注した当社オリジナルモデルだからこそ実現したと言えます。車両性能でも、高压洗浄などの清掃分野でも定評のあるドイツの技術とノウハウがふんだんに盛り込まれているのです。完全受注生産のため、発注から納品、車検などの手続きを経て、運用開始までには実に1年3カ月掛かった待望の1台です。

ドイツの技術者のレクチャーを受け、一昨年夏から作業を開始。現在、成田国際空港で年3回施工することになっている定期的なゴム除去作業で、大きな成果を挙げています。

すれば、標識などのライン除去に使用することもできます。研磨剤となる粒子などを使用する従来の方式とは異なり、粉塵が発生しません。除去した塗料片を水と一緒に吸い上げるため、処理後の清掃なども不要。クリーナーを2台同時に使用できるのも利点です。

ARC1500は、1台にさまざまな機能を搭載し、少人数で作業できることになりました。実際、昨年には北海道の新千歳空港へ二度出張しており、高い評価を得ています。

(右) 工場の構内や屋内などの床面に付着した油分や汚れの清掃も可能。広さに応じて車両本体とハンド式を使い分けることもできる

(右下) ARC1500にライン消去専用のハンド式サーフェスクリーナーを装着することで、路面のライン消去が可能



人の技術もレベルアップ 今後の可能性に期待

最新鋭の技術が詰まったARC1500ですが、それを使いこなすのはあくまでも人。作業速度や水圧、水量などのバランスは、経験に基づいて判断するものであり、作業を行いながらの微調整が重要になってきます。これらを習得するには、とにかく経験を積むことが大切。現在、第1事業部では5



昨年の8月、10月に行った新千歳空港でのゴム除去作業の様子。茨城県大洗港からフェリーを利用し、北海道苫小牧港へ。8月は異常台風のため、大洗港発の便が欠航、急ぎょ新潟港から出港するというハプニングも。作業は夜間に行われるため、灯火などの空港設備を破損しないなど細心の注意が必要

名がARC1500での作業に取り組みでも、さまざまな情報の共有などにも努め、技術の向上を目指しています。

今後はサーキットなど、空港以外でゴム除去が必要な場所への出張も視野に入れており、工場などの床面清掃にも活用できるのではないかと考えています。既に2015年12月に東京ビッグサイトで開催された、洗浄機器や関連技術の展示会「2015洗浄総合展」にも出展。日本に1台しかない路面清掃車として注目を浴びました。まずは存在を周知し、多くの関係者にそのポテンシャルを知ってもらおうことで、需要も高まると考えています。

備えている性能、機動力の高さに、人による柔軟な発想をプラスし、多方面での活躍を模索しています。

主な業務

成田国際空港メンテナンス業務
(路面清掃、路面標識塗装、草刈り、滑走路ゴム除去、除雪、空港施設修繕)

第4事業部 ナリコーセレモニー

第5回ナリコー杯 パークゴルフ大会

昨年10月11日、久住パークゴルフ場（成田市久住）にてパークゴルフ大会が開催され、秋の爽やかな空気の中、約90名の方がのびのびとプレーを楽しまれました。当社から、各賞のほか参加賞を協賛させていただきました。



ホールをよく狙って

ナイスショットに期待

第9回会員様限定イベント

昨年10月30日、香取ホールにて毎年恒例の会員様限定イベントを開催し、約700名様にご参加いただきました。会場では、豪華景品が当たる大抽選会のほか、よさこいや各種ステージイベントを実施。ご家族皆様でお楽しみいただきました。

今後も、さまざまな交流イベントを企画してまいります。



人気の大抽選会

さまざまなイベントで会場は盛り上がりました

お知らせ

- 昨年11月、当社は成田市および富里市の社会福祉協議会様に寄付をいたしました。今後も地域活性化への貢献を行ってまいります。
- 昨年11月30日をもって「ナリコークチコミガイドブック」を終了いたしました。今後、さらなるサービス向上に努めてまいりますので、引き続きご愛顧の程お願い申し上げます。



成田市での授与式

富里市での授与式

主な業務

葬祭に関する全般業務

ナリコーの各事業部の業務紹介やイベントの様子などをお伝えします。

第2事業部 土木課・建築課

一般国道464号北千葉道路の一部開通間近

一般国道464号北千葉道路は、市川市から千葉ニュータウンを経て成田市までを結ぶ、全長約43kmの道路です。当部では千葉県北千葉道路建設事務所の工事を何件か施工させていただいており、今回の工事では、平成27年8月から平成28年6月までの間、印西市吉高で道路橋の橋台*を構築しました。

写真でもお分かりいただけると思いますが、現場は営業線（成田高速鉄道）のすぐ脇のため、営業線に影響を与えないよう工事計画から現場安全管理まで、日々注意を払いながら施工しました。また、橋台のコンクリート打設は冬季ということもあり、コンクリートの温度管理や品質管理についてさまざまな工夫を行いました。

通常橋台は、上部工（橋本体）が載ると隠れてしまい印象が薄れがちですが、当橋台は数年の間上部工が載りませんので、近くを通りかけた際にはぜひ実物をご覧ください。鉄道との距離感を実感いただけると幸いです。

*橋の上部構造の両端を支える基礎



成田高速鉄道の線路に隣接する橋台

主な業務

土木工事 建築工事 メンテナンス工事



鳥正弁当

第5事業部 鳥正

お得でおいしい新メニューが登場!

昨年の10月より、ランチタイムに「鳥正弁当」と「とんかつ定食」をご提供しています。鳥正弁当は多彩な食材を使ったいろいろな小鉢に、ご飯と汁物、そしてデザートまで付いて1,000円。リーズナブルな価格で、季節ごとに少しずつ変わるメニューをお楽しみください。とんかつ定食は、 GRANDメニューでもおなじみの「ぶたしゃぶ」で使用している自慢の林SPF豚のロース肉（150g）、ヒレ肉（120g）をご用意。こちらもご飯、汁物、デザート付きで1,100円。豚肉の味をしっかりと味わっていただけます。

ランチタイムがますます充実!

ランチタイムでも、GRANDメニューにある串焼き1本からご注文いただけるようになりました。女性やシフト勤務のお客様からの、ランチタイムにもぜひ食べたいとのご要望にお応えしています。また、市内では数少ない昼間のご宴会のご予約も承っておりますので、大小のお集まりにご利用ください。

*価格はいずれも税別。

主な業務

飲食業



とんかつ定食



昼飲みプラン

平日昼のご宴会に飲み放題プランも承っておりますのでご利用ください(4名様より)



中央操作室でも、子どもたちに廃棄物の焼却方法やリサイクルの流れについて説明しました

第3事業部 ナリコークリーンセンター

「空の環境学習」で富里市の児童が来社

昨年8月26日、「富里市少年少女の翼」の皆さん（小学校5、6年生26名）が施設見学に訪れました。

富里市少年少女の翼は、「ふるさと富里を愛し、環境・平和へ関心をもって積極的に行動する子どもたちを育てることを目的」に設立されたものです。皆さんには、基本的な廃棄物処理についての学習をしてから、焼却工場と廃棄物から肥料をつくるコンポスト設備の見学をしていただきました。

地域の皆様に、当社の環境への取り組みを広く知っていただくことにつながるよう協力していきます。



(左)管理棟の屋上から成田国際空港の滑走路も見学していただきました
(下)実際にリサイクルされるものの展示



主な業務

一般廃棄物の収集運搬及び中間処理(焼却)業務
産業廃棄物の収集運搬及び中間処理(焼却)業務
廃棄物のリサイクル業務

トクターズ エッセー

vol.6

腰痛にご用心!

多くの方が抱えているといわれる腰痛の、意外な実態を解説します。

腰痛は、重量物を運搬するような仕事をする人に多いことは明らかですが、有訴率(症状がある割合)で見ると、建設関係が29%であるのに比べて事務関係が49%と高い確率になっています。業務別では、介護や清掃関係の数値が高くなっていますが、運転やデスクワークなど同じ姿勢を長時間続けなければいけない仕事でも、腰痛が発生しやすくなります。

腰痛予防に、運動や体操が有効と考えるのが普通だと思います。しかし、研究でははっきりした結果は出ていません。ただ、運動をして体を鍛えていると腰痛になる確率は減らしい(予防効果)ことは分かっているので、腰痛のリスクがある仕事をしている人や、まだ腰痛(ぎっくり腰)になったことがない人は、普段から運動習慣を維持しておくことでよいでしょう。

危険因子といわれている肥満も、腰痛と直接の相関関係

があるとはいえないようですが、内臓脂肪が多いことは何らかの関係があるようです。また、理由は明らかになっていませんが、喫煙は危険因子であるといわれています。

以前は、腰痛には安静が一番だといわれていました。最近では、痛みの程度に応じて普段の活動性を維持することが、より早い痛みの改善につながるといわれています。急性腰痛の痛みの由来は、骨ではなく筋肉です。湿布や鎮静剤とは別に、筋緊張を取る作用の薬もあります。それらを併用しながら、少しずつ体を動かしていくことが大切です。

ただし、そうとは分かっている、運動をするのがおっくう、仕事をしていると一日ほとんど歩かない、車通勤だから歩くのは駐車場と職場の往復だけ、という人にお勧めの「究極の腰痛予防法」があります。それは、睡眠です。理想的には7時間ですが、少なくとも目覚めたときに体が軽いと感じる状態まで睡眠を取っていると腰痛になりにくいようです。喫煙している方は、この際、禁煙も考えて、腰痛予防を心掛けた毎日を過ごしましょう。

当社産業医 医学博士 柳川哲朗
(聖マリア記念病院)



暮らしの豆知識

遺言のススメ

最近、遺言書についての相談がとて多いと感ずます。実際に遺言書を作成される方も、年々増加しています。

遺言書は遺書ではありません。遺言書は、自分の築いた財産が、大切な人へ確実に行き渡るために必要なものなのです。

法律では、相続人や相続の割合が定められていて、遺言書がない場合は、それに従って相続されます。または、遺産分割協議という相続人同士の話し合いによって、財産を分けることになります。話し合いで皆が納得いく結果になればよいですが、そう上手く事が運ぶとは限りません。「父の介護をしたのは私なんだから、私が財産を多くもらう権利があるわ」「何を言ってるんだ。お前は、介護に必要だと言って新車を買ってもらったじゃないか!」こんな言い合いが始まって、話がまとまるどころか、余計にこじれてしまった、なんてこともよくある話……。自分が汗水流して築いてきた財産で、大切な家族がバラバラになるなんて、考えたくもないですよね?

相続が「争続」にならないためにも、遺言書を作成することを考えてみてはいかがでしょうか。自分で遺言書を書くこともできますし、公証人が作成する公正証書遺言というものもあります。遺言書は、様式どおりに書かなければ無効となり、意味がなくなってしまいます。まずは、お近くの司法書士事務所などの専門家に、お気軽に相談してみてもいいかもしれません。

司法書士法人ふらっと 代表司法書士 菊地裕文
成田事務所 / 成田市郷部1252 ☎0120-054-489



総務部

「NARITA 花火大会 in 印旛沼 11th」が感動のうちに終了

成田の秋の風物詩、「NARITA花火大会 in 印旛沼」が、昨年10月15日に開催されました。

チケット発売と同時に完売となるほどの人気を博すこの花火大会は、2006年にスタートし、昨年で11回目。観客の掛け声によるカウントダウンや、打ち上がった花火とカードのマークを揃えるビンゴゲームなど参加型のイベントがあり、2010年には世界初の「観客参加型花火大会」としてグッドデザイン賞を受賞しました。また、音楽と花火のコラボレーションが見事な3部構成の「花火ファンタジア」、クライマックスを飾る壮大な「NARITA黄金伝説」など、趣向を凝らしたプログラムが盛りだくさんで、会場は大きな感動に包まれました。

当社も地域活性化の一助となるべく、協賛企業として参加いたしました。今年も一段とグレードアップした花火大会が開催されるのが楽しみです。



NARITA黄金伝説



匠巻のクライマックス

写真提供 /
NARITA花火大会実行委員会

社員が行ってきました!
初めて見ました! 音楽と花火の競演が素晴らしいかったです。有料の観覧席だったので目の前で上がり、降り注ぐような花火が感動的でした。次回はぜひ皆さんも足を運んでみては。

主な業務

人事 庶務 経理

第2営業部

女性社員の活躍に期待!

当部には、昨年4月に初の女性営業社員採用で、川口みさきさんが入社しました。研修を経て7月から本格的に医療系廃棄物処理の営業をスタートし、主に契約先の開業医様の契約更新やアフターフォローなどを行っています。「今までの学校教育では習得できない知識が必要なので、とにかく毎日が勉強です。失礼のない言葉遣いなどで、お客様に好印象を持っていただけるようになります」と抱負を語ってくれました。

そんな川口さんのお手本ともいえる存在が、先輩社員の保科公光子さんです。当事業部の事務職から営業職に転向して約8年。事務職時代に得た豊富な知識が、お客様からの信頼獲得につながっています。「産婦人科様などでは、「営業の方が女性なので安心」という声などもいただいております。自分が役に立っていると実感できます」とやりがいを感じている保科さん。後輩たちの礎になりたいと、頼もしい一面も見せてくれました。

保科さん(左)と川口さん(右)。「お客様に信頼してお任せいただけるよう一生懸命頑張ります」

当部は社内でも、特に明るくてアットホームな職場、と言う二人。これからもますます輝いてくれることを期待しています。

主な業務

一般廃棄物処理の受注業務 産業廃棄物処理の受注業務

社員の気に入り! My Favorite

台湾料理店 鼎 KANAE

本格的ショウロンポウの専門店

公津の杜駅から徒歩5分の好立地にある、台湾料理店、鼎 KANAE。都内や台湾で修業を積んだ店主が、故郷成田に恩返しをしたいと、ショウロンポウの専門店として2015年6月にオープンした。広々とした店内は、シンプルでスタイリッシュ。清潔感が漂う。

料理は全て手作りで、作り置きは一切しない。9割の人が注文するのが、もちろんショウロンポウ。透き通るほど薄く伸ばした皮で、国産肉を使った具材を包み込んで蒸す。口に入れると熱々の肉汁がいっぱいに広がる。かにみそやエビ入りなど6種類あるが、豚肉のみのシンプルな品が一番人気。通をうならせる逸品だ。



(上) 落ち着いたトーンの店内。パーティールームがあり、貸切もできる
(左) ①一番人気のショウロンポウ(4個519円、6個778円)と、②4~5時間かけてじっくり煮込んだ豚バラ肉を使った庶民の味、ルーロー飯(778円)、③旬の野菜を使い、塩だけのシンプルな味付けをした季節野菜の炒め物(648円)

☎ 0476-37-5224

📍 成田市公津の杜3-6-5 ソレイユビル1F

🕒 11:00~15:00(LO14:30)、17:00~22:00(LO21:30)

🔥 火曜日 🅕 24台

🎁 応募プレゼント ディナーセット(1,512円相当)を10名様



(左) 米分伝統の「生栗蒸ようかん」。1本入り500円、2本入り1,000円
(右) 極上の小豆を使った餡と、厳選された栗の甘露煮をぜいたくに使った「こよね」。7~10日程度日持ちするので、手土産にぴったり。1本入り1,200円(化粧箱入)~



店内は、楕円の意匠を取り入れた優しく落ち着いた雰囲気の奥のイートインスペースで中座を眺めながら和菓子をおいしくいただける。箸や和雑貨などのギャラリーも併設している。

米分

成田名物、栗蒸ようかんの元祖

成田駅から表参道を歩いて7分、大正8年創業の老舗和菓子舗「米分」がある。2009年に改装したという店舗は、ガラス張りの入口が開放的だ。創業時、初代諸岡常吉が、成田山の精進料理の一つであった蒸ようかんに栗を入れた、栗蒸ようかんを考案した。素材にこだわり、伝統の製造方法を守りながら職人が一つ一つ手作りにしている。中でも、生栗蒸ようかんは、もっちりとした食感が特徴。甘すぎず、小豆の風味が活かされた上品な味は、県外にも多くのファンを持つ。

手土産に、ほっと一息つきたいときに、特別なようかんをいただいてみてはいかが?

☎ 0476-22-0153

📍 成田市上町503番地 🕒 9:00~17:00

🔥 火曜日(ただし月によって変更あり) 🅕 なし

<http://www.yonebun.co.jp>

🎁 応募プレゼント 1,000円の金券を30名様



※掲載価格は税込です。

わたしの ベストショット

最近TVなどで紹介されている、瀧の滝に行ってきました! 緑と水の流れがすがすがしく、癒やされました。



T町 Tさん

🎁 投稿写真募集中!
採用された方には
Quoカードをプレゼント

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※ご応募いただいた情報は厳重に管理し、プレゼントの発送およびキャンペーン等のDMによるお知らせに使用させていただきます。転居の際はお手数ですが新住所をご連絡ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

小誌の発行も本号で7号目となりました。1号から6号までは各事業部の大きな事業紹介をさせていただきました。本号からは各事業部で行っている各業務に焦点を当て、読者の皆様に弊社の業務内容をご理解いただければと思っております。

今年もよろしくご愛顧のほどお願い申し上げますとともに、読者の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

各コーナーの 応募方法

プレゼントはハガキまたはFAXで、投稿写真は郵送で、
プレゼント名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ご意見・ご感想をご記入の上、下記までご応募ください。

応募締切

2017年2月15日(水) 必着

応募宛先

郵送 〒286-0117
千葉県成田市三里塚光ヶ丘1-1331
FAX 0476-35-5360
株式会社ナリコ「NariHO編集室」係